



令和4年度

小野小だより



特別号

11月24日

情報モラル講演会

～大人が危機感を持つこと～



小野小学校長

【スマホやネットに潜む危険】

～ネット環境とルールについて考えよう～



NIT 情報技術推進ネットワーク (株)
サイバーパトロール監視員 筒崎眞美 氏



11月15日(火) 情報モラル講演会を低学年・高学年の2部に分けて実施しました。子ども達の反応を見ていて、「大人が知らない世界」を感じました。私たち大人が思っている以上に知識があったり、隠れてやっていたりがあることも分かりました。危機感を持つ必要があります。講師先生から教えて頂いたことのポイントは以下の点です。

長時間していると脳が壊れる

- ・ゲームのし過ぎは、脳がフル回転している状態になる！
- ・寝て脳を休ませることが大事！
- ・睡眠不足の時は負の感情が2倍になる

寝ている子はゲーム障害にならない

- ・アイコンを自分の顔にしていた子が、自分の位置情報を知られ、48歳の見知らぬ男に誘拐された話 ⇒命がなくなるよ！
- ・ロブックスというゲームを子どもが親のスマホでし、クレジットがイエスになっていたので、一晩で50万円支払う事態となった。
- ・ゲームをやりすぎると、喜怒哀楽が無くなり、「怒」だけが残る。
- ・「ごめんなさい」で許してもらえない、大きな問題が増えている。
- ・ゲームに負けてキレる子、暴言を吐く子は、良いことと悪いことが判断できなくなる「ゲーム依存症」に足を踏み入れている状況にある。
- ・一旦、脳がダメージを受けると、元どおりにはならない。修復不可能となる。
- ・ネットで出会った人と、実際に会ってはならない。殺される事件がある。
- ・相手を傷つけたら、今や、バレないことはない。誰がどこの部屋のどの端末から発信したのかも、分かるようになっている。確実に誰かは分かる。
- ・エナジードリンクは、すっきりし元気になるが、あとで気持ちがイライラしてくる。(子どもは飲まない) 眠たい時にしっかり寝ることが大事。





子ども達の感想



1年生

★ゲームをながいじかん やってしまうと、おこったり、のうが、もう じぶんにまかせてしまうから、げーむは、やる時にやるじかんを1じかんいないにすればいいとおもいます。

★ながいじかんゲームをしていたら、ころが、たのしい気もちも、かなしい気もちも、おこっている気もちもぜんぶ、こわれてしまうということがわかりました。

2年生

★ゲームを長い時間やっていると、のうがこわれて何もかんじないのは、びっくりしました。なんでも「はい」をおしちゃうとお金がなくなっちゃうので、ぜったいにやってはいけないんだと思いました。

3年生

★ぼくが、わかったことは、ゲームはこわいことがわかりました。どうしてかという、ぼくもゲームをしていて、時間をおして、していることがあるからです。ぼくは、ゲームの話を聞いてこわくなったから、次からは、しっかり時間をまもって、課金もあまりしないようにします。

4年生

★ぼくは、ネットサイバーの話を聞いて、すごくこわいなあとと思いました。オンラインゲームだけじゃなくて、よく使うカメラやYouTube、ラインなどでも こじんじょうほうが分かってしまったり、ゲームによっては、こじんじょうほう分かるだけじゃなくて、気持ちまでこわされると知ってゲームなどをしすぎると、本当にこわいことになると分かりました。

5年生

★位置情報があるだけで、ストーカーやゆうかいなどの犯罪にまきこまれてしまったりするのは、とても怖いと思いました。ネットで人の悪口を書いたり、英語などで分からないまま課金しないようにしようと思いました。出会い系のアプリも入れないようにして、安全を優先しようと思いました。

6年生

★インターネットの危険を知って、すごくこわいものだと思います。だれかとつながるようなアプリは、やってないけど、こんなことになるかもしれないという危機感が大切だと思います。これからも、インターネットに書いてあることがすべてだと思うのではなく、その情報が正しいのかしっかりと判断できるようにしたいです。

家族で、普段の会話があれば、大丈夫！

- 兵庫県では、フィルタリングは、原則親の義務となっています。
- お子様が、どんな時間にどんなものをしているか、把握しておく必要があります。
- 家族内で、普段の会話があれば、大丈夫！
お子様一人で放置しないことが大切です。

